

教科(科目)	外国語 (英語コミュニケーションI)	単位数	4単位	学年(コース)	1年次
使用教科書	啓林館『LANDMARK Fit English Communication I』				
副教材等	啓林館『Fit WORKBOOK』『Fit サブノート』 桐原書店『DataBase 3300』『DataBase 3300 Workbook A』 いっずな書店『総合英語be Base Builder Start up! 1, 2, 3』				

1 学習目標

英語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、英語による言語活動を通して、情報や考え、気持ちなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

1. 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識と言語活動とを効果的に関連づけ、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。
2. コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることができるようにする。
3. 英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

2 指導の重点

1. ペアワークを利用して、よりよい聞き手の態度や、積極的に英語学習に取り組む態度を育てる。
2. 繰り返し学習を行い、必要な基礎知識の習得や語彙力の向上を目指す。
3. 誰が何をしたのかを理解しながら文を読み、大意を把握して音読し、口頭で要約する。
4. 教科書の表現を使い、アイコンタクトやジェスチャーを用いて自分の考えを積極的に伝える。
5. 副教材やワークシートを活用しながら、学習内容の理解を深める。

3 評価の観点の趣旨

a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報や考えなどの概要や要点、話し手や書き手の意図などを理解したり、これらを活用して英語で表現したり伝え合ったりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

4 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
評価方法	以上の観点を踏まえ、 <ul style="list-style-type: none"> ペーパーテストの分析 パフォーマンステストの分析 ワークシートや課題等の提出物の内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 <ul style="list-style-type: none"> ペーパーテストの分析 パフォーマンステストの分析 授業中の発表、ペアワークやグループワークへの取り組みの観察 ワークシートや課題等の提出物の内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 <ul style="list-style-type: none"> パフォーマンステストの分析 授業中の発表、ペアワークやグループワークへの取り組みの観察 ワークシートや課題等の提出物の内容の確認 などから、評価します。
	内容のまとめりごとに、各観点 各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。 内容のまとめりごとの評価規準は授業で説明します。		

5 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価の観点と 評価方法
4	課題テスト			1	ペーパーテスト
	Preparatory Lesson	辞書の引き方 自己紹介	<ul style="list-style-type: none"> 英語学習に必要な知識を学ぶ。 自己紹介をペアやグループで行う。 	6	ワークシート ペアワーク グループワーク
5	Lesson 1	Enjoy Your Journey!	<ul style="list-style-type: none"> 登山家のエピソードについて、必要な情報を聞き取ったり読み取ったりして、概要や要点を捉える。 新生活に向けた目標について、自分の考えを伝え合うやりとりを行う。 自分の今後の目標について、20語以上の英文で書いて伝える。 	12	ワークシート ペアワーク グループワーク パフォーマンステスト
	第1回考査	Preparatory Lesson、Lesson 1		1	ペーパーテスト
6	Lesson 2	Curry Travels around the World	<ul style="list-style-type: none"> カレーのルーツや普及の経緯について、必要な情報を聞き取ったり読み取ったりして、概要や要点を捉える。 カレーの好みについて、自分の気持ちや考えを伝え合うやりとりを行う。 自分のカレーの好みについて、基本的な語句や文を用いて話して伝える。 	14	ワークシート ペアワーク グループワーク 発表 パフォーマンステスト
	Lesson 3	School Uniform	<ul style="list-style-type: none"> 世界の制服事情について、必要な情報を聞き取ったり読み取ったりして、概要や要点を捉える。 制服について、自分の気持ちや考えを伝え合うやりとりを行う。 	14	ワークシート ペアワーク グループワーク パフォーマンステスト
	第2回考査	Lesson 2、Lesson 3		1	ペーパーテスト
7	Lesson 3	School Uniform	<ul style="list-style-type: none"> 制服の利点や問題点などについて、基本的な語句や文を用いて、自分の意見や主張などを30語以上の英文で書いて伝える。 	8	ワークシート
8	夏課題考査			1	ペーパーテスト
9	Lesson 5	Bailey the Facility Dog	<ul style="list-style-type: none"> ファシリティードッグについて、必要な情報を聞き取ったり読み取ったりして、概要や要点を捉える。 ファシリティードッグがもつ医学的効果について、自分の気持ちや考えを伝え合うやりとりを行う。 動物と人との関わりについて、基本的な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理的に注意して話して伝える。 	18	ワークシート ペアワーク グループワーク 発表 パフォーマンステスト
	第3回考査	Lesson 5		1	ペーパーテスト
11	Lesson 6	Communication without Words	<ul style="list-style-type: none"> 世界の国々の言葉を用いないコミュニケーションについて、必要な情報を聞き取ったり読み取ったりして、概要や要点を捉える。 異文化のコミュニケーションについて、自分の気持ちや考えを伝え合うやりとりを行う。 各地域での言葉を用いないコミュニケーションの違いについて、基本的な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理的に注意して話して伝える。 	25	ワークシート ペアワーク グループワーク 発表 パフォーマンステスト
	第4回考査	Lesson 6		1	ペーパーテスト

12	Lesson 4	Eco-Tour on Yakushima	<ul style="list-style-type: none"> ・屋久島の自然や歴史について、必要な情報を聞き取ったり読み取ったりして、概要や要点を捉える。 ・屋久島エコツアーについて、自分の気持ちや考えを伝え合うやりとりを行う。 	15	ワークシート ペアワーク グループワーク パフォーマンステスト
1	冬課題考査			1	ペーパーテスト
2	Lesson 4	Eco-Tour on Yakushima	<ul style="list-style-type: none"> ・ツアーガイドによるオリエンテーションという設定で、屋久島の名所について、グループで協力して、情報や考えなどをわかりやすく詳しく話して伝える。 	15	ワークシート グループワーク 発表
	第5回考査	Lesson 4		1	ペーパーテスト
3		世界遺産紹介プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が選んだ世界遺産について、基本的な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを30秒～1分で詳しく話して伝える。 	5	ワークシート 発表 パフォーマンステスト

計140時間(50分授業)

6 課題・提出物等

- ・年間計画に従い、月1回の英単語テストを実施する。
- ・定期的に音読テストを実施する。
- ・教科書の内容に沿いながら、パフォーマンステストを実施する。
- ・定期考査時に、授業や家庭学習で使用した副教材を提出する。
- ・長期休業中の課題は別途指示する。

7 担当者からの一言

1年次の必修科目として、英語学習に必要な基礎的な力を身につけます。最初は中学校で既習の内容の復習を中心に授業を進めます。意欲的に取り組んで、少しでも英語で自分自身を表現できるようになってほしいと思います。
(担当：寺嶋、長井、田中)